

< 参考資料 >

福島第一原子力発電所
5・6号屋外仮設タンク水抜きについて

平成25年7月16日

東京電力株式会社



東京電力

1 . 目的及び概要

【目的】

5・6号機屋外に設置されている仮設タンク（600m³/基）9基には、メガフロートに一時保管していた5・6号滞留水を移送し、これまで貯水していた。5・6号滞留水を貯留していたNO.4地下貯槽について水抜きが完了したことから、屋外仮設タンクも同様に移送し、処理を行う。

【概要】

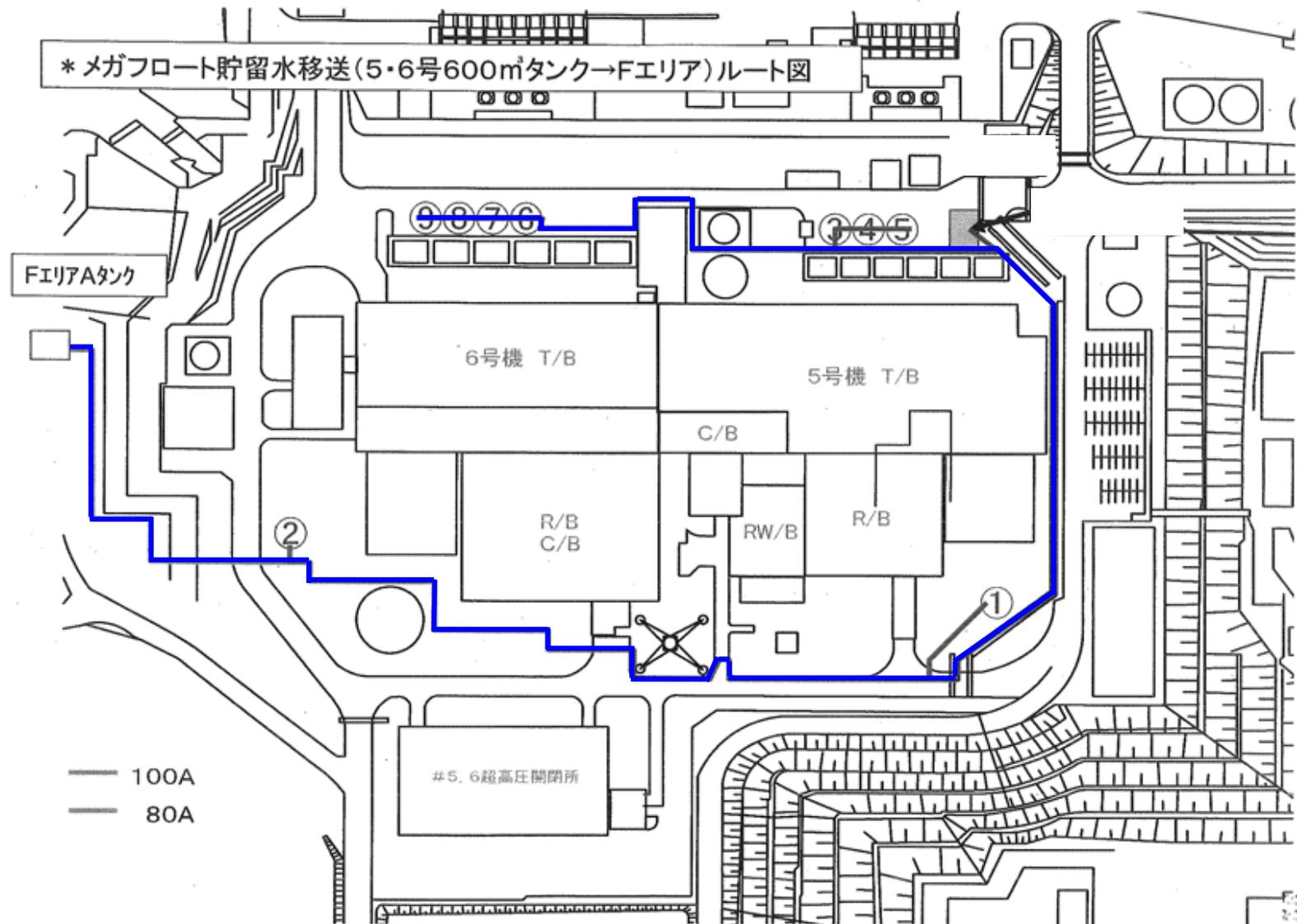
震災で5・6号機の各建屋には海水及び地下水が流入し、原子炉の冷温停止維持に影響を及ぼす恐れがあったため、メガフロートに移送した。昨年12月、1～4号機用資材の海上搬入や港湾改修に干渉することから、メガフロートを移動するために、滞留水を5・6号機屋外仮設タンクやNo.4地下貯槽へ滞留水を移送した。No.4地下貯槽の水抜きが完了したことから、引き続き5・6号屋外仮設タンク内の滞留水を移送処理する。

【移送量及び移送時間】

貯水量　：約4,200m³（約500m³×8基，約200m³×1基）

移送時間：35m³/h×7h×2日、残水移送1日（タンク1基）

2. 移送ルート(1)



3 . 工程

	H 2 5 . 7				H 2 5 . 8				H 2 5 . 9			
No.1タンク				■								
No.2タンク			■									
No.3タンク							■					
No.4タンク							■					
No.5タンク								■				
No.6タンク											■	
No.7タンク											■	
No.8タンク							■				■	
No.9タンク							■					